

LOBO 調査

早期景気観測

6月 日商調査日 6月13日～19日
当所調査日 6月13日～20日

LOBO調査とは

全国各地の商工会議所が参加して、日本商工会議所が実施する全国規模の早期景気観測調査。当所ではさらに、商工振興員の皆さまにも調査へのご協力をいただき、より地域に根差した調査を実施。

日商調査

6月の全産業D I ▲18・3
(前月比 ▲1・2ポイント悪化)

○中小企業の景況感

米中貿易摩擦の影響に伴う半導体や産業用機械、自動車関連の不振や、世界経済の先行き不透明感の広がりを指摘する声は依然として多く聞かれ、中小企業の景況感には足元で鈍さが見られる。

○プラス要因

インバウンド需要の堅調な動きに加え、都市部の民間工事を中心とする建設業が底堅く推移。個人消費の拡大やインバウンドを含む夏の観光需要拡大への期待感がうかがえる。

○マイナス要因

深刻な人手不足による受注機会の損失や人件費・外注費の増大、根強い消費者の節約志向、原材料費の高止まりによる収益圧迫。

○先行き

先行き見通しD Iが▲19・5 (前月比▲1・2ポイント)悪化。
人手不足の影響の深刻化や、原材料の上昇、コスト増加分の価格転嫁遅れ、貿易摩

擦の激化、世界経済の動向、消費税引き上げの影響など不透明感が増す中、中小企業においては、先行きへの慎重な姿勢が続く。

【関東ブロックの業況についてのコメント】

住宅リフォーム用の補助金制度を営業ツールとして活用し、顧客に案内しており売上は増加している。しかし、原材料の仕入価格や人件費上昇の負担は大きく、採算の確保に難航している(建築工事業)。

取引先メーカーにおいても対中輸出が減少しており、米中貿易摩擦の影響が見られる。建機用の部品の動きが昨年に比べ明らかに悪化しており、売上高の前年割れは避けられない。イギリスのEU離脱などのヨーロッパ情勢を含め、今後の動向を注視している(計量器測定器等製造業)。

「ゴールデンウィーク後の反動減を懸念していたが、爆買い傾向は収束したものの引き続き堅調なインバウンド需要により売上は増加した。働き方改革による消費者のライフスタイルが変化したのか、夜遅い時間帯の集客に苦戦するようになった(各種商品小売業)。

【当所調査】

【当所調査】全体平均D Iはやや悪化

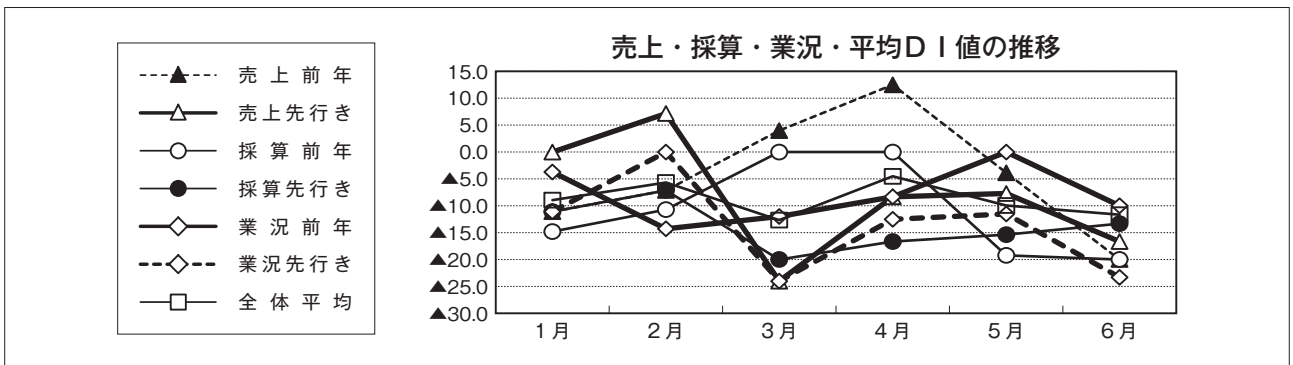
全体平均D Iは▲11・7ポイントで、前月に比べ▲1・8ポイントの悪化。

項目別では、前月と比較し売上先行きが▲9・0ポイント、業況先行きが▲11・8ポイント悪化した。

寄せられたコメントには「売り上げの増加が見込めず、経費を削減して経営している(楽器小売業)」、「メーカーの出し渋りにより品物不足が続いている。仕入れコストが高くなっているが、価格に転嫁できていない(紙製品卸売業)」という声が聞かれた。

(全産業) 水戸商工会議所商工振興員LOBO調査(D I 値推移) (サンプル数40社)

| 項目 | 平成30年 | | 平成31年 | | | | 令和元年 | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|
| | 6月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | |
| 売上前年 | ▲26.1 | ▲11.1 | ▲7.1 | 4.0 | 12.5 | ▲3.8 | ▲20.0 | |
| 売上先行き | ▲17.4 | 0.0 | 7.1 | ▲24.0 | ▲8.3 | ▲7.7 | ▲16.7 | |
| 採算前年 | ▲30.4 | ▲14.8 | ▲10.7 | 0.0 | 0.0 | ▲19.2 | ▲20.0 | |
| 採算先行き | ▲21.7 | ▲11.1 | ▲7.1 | ▲20.0 | ▲16.7 | ▲15.4 | ▲13.3 | |
| 仕入前年 | ▲34.8 | ▲37.0 | ▲32.1 | ▲56.0 | ▲25.0 | ▲42.3 | ▲26.7 | |
| 仕入先行き | ▲30.4 | ▲44.4 | ▲39.3 | ▲48.0 | ▲29.2 | ▲38.5 | ▲40.0 | |
| 社員前年 | 21.7 | 29.6 | 14.3 | 20.0 | 25.0 | 26.9 | 20.0 | |
| 社員先行き | 13.0 | 25.9 | 25.0 | 32.0 | 20.8 | 26.9 | 20.0 | |
| 業況前年 | ▲21.7 | ▲3.7 | ▲14.3 | ▲12.0 | ▲8.3 | 0.0 | ▲10.0 | |
| 業況先行き | ▲17.4 | ▲11.1 | 0.0 | ▲24.0 | ▲12.5 | ▲11.5 | ▲23.3 | |
| 資金前年 | ▲13.0 | ▲18.5 | ▲7.1 | ▲8.0 | 0.0 | ▲11.5 | ▲3.3 | |
| 資金先行き | ▲17.4 | ▲11.1 | 3.6 | ▲16.0 | ▲12.5 | ▲23.1 | ▲6.7 | |
| 全体平均 | ▲16.3 | ▲9.0 | ▲5.7 | ▲12.7 | ▲4.5 | ▲9.9 | ▲11.7 | |



※D I 値(景況判断指数) = (増加・好転などの回答数 - 減少・悪化などの回答数) / 全回答数 × 100。ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味するもの。